

TUMUGUBA

TUMUGUBA _ 12th

多治見のまちなか再生の現場を視察する

陶磁器産業のまちとして発展してきた多治見市。昭和の高度成長期以降は主要産業の低迷とともに、大都市圏のベッドタウンとして郊外化がすすみ、一方で中心市街地は長らく衰退をしてきました。そうした変遷は繊維産業のまち一宮とどこか似ているように感じられます。

その多治見市の中心市街地では近年、まちづくり会社による駐車場管理や駅前広場運営等によって様々なイベントの開催や戦略的な情報発信が行われ、まちなかに人が増えつつあります。また、古い建物のリノベーション事業等が進みまちなかでの起業や出店も相次いでいます。

今年8月には「たじみ DMO」の小口英二氏をお招きして、そうした多治見市まちなかの取組みのお話を伺いました。そこで今回は多治見市中心市街地での取組みの現場を視察して深く学び、一宮のまちなか再生のヒントを探ります。

一宮まちなかの未来を紡ぐ場

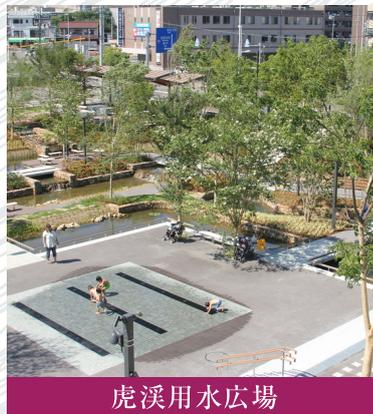
12th

2025. 11. 11 (火)
14:00 ~ 17:00

14:00 JR 多治見駅 改札前集合
17:00 多治見駅周辺で現地解散

参加無料 定員約 15 名 (申込先着順)
要申込：下記 2 次元コードから

※終了後に現地で懇親会あり (要参加費、任意参加)



主催：一宮まちなか未来会議
協力：一宮市まちづくり都市計画課
問合せ先：NPO 法人志民連いちのみや
E-mail：info.iwsdp@gmail.com
当日の連絡：090-7618-5426 (藤森)

参加申込み
フォーム

右側の QR コードを
読み取りください

